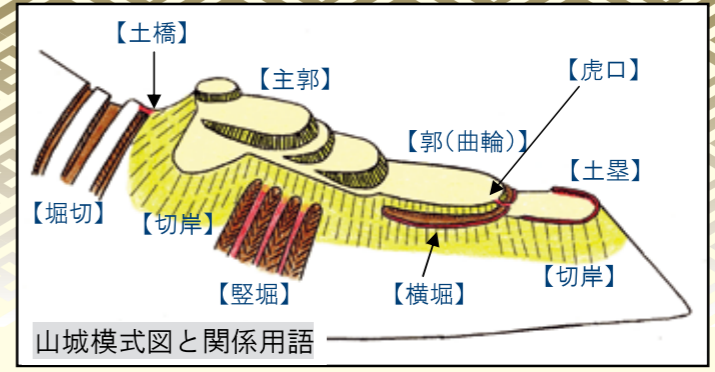


山城の見方指南

シリーズ「お城拝見!」第六十五回

安芸高田市歴史民俗博物館
学芸員 秋本哲治

このシリーズで紹介してきた沢山の城跡。これらは見方さえわかれば、誰でも楽しむことができます。今回は山城の主な用語を解説し、さらに遺構を見極める際に私が重視しているポイントを紹介いたします。皆さんが城跡を歩く際の参考になれば幸いです。



【郭(曲輪)】
人工的に平坦にした部分。兵が駐屯

【主郭】
通称本丸、中心の郭。最も重要な防衛拠点

【切岸】
敵が登れないように急角度に削った斜面

【土塁】
郭の周囲に土を盛り、敵の進入を防ぐ

【虎口】
城における郭への出入口

【横堀】
斜面を水平方向に掘り、登る敵を防ぐ

【縦堀】
斜面を垂直方向に掘り、敵の横移動を防ぐ

【堀切】
3本以上連なるものを畝状縦堀群という

【土橋】
尾根伝いに攻める敵に備え、尾根を切断堀の間に通路として作られた土の橋

《山城観察のポイント!》

1. **主郭を探そう**
明らかに人工的な平坦地があれば、郭の可能性がります。通常最も高い位置にある郭が、城の心臓部の主郭です。

2. **切岸か自然地形か**
人工的な平坦地があっても城跡とは限りません。郭の外縁部の斜面が鋭く落ちていれば城跡の可能性大です。逆にだらだらと下っていれば自然地形と思われれます。

3. **堀切を確認**
切岸を伴う主郭があれば、その背後の尾根上に堀切があるかもしれません。もし確認できれば、城跡と考えられます。

4. **本当に城の遺構?**
戦国時代から現在までは約500年が経過しており、近世以降何らかの土地改変がされている場合も十分あります。山の中ではどれも城の遺構に見えてしまうことがあるので、冷静に判断しましょう。

〈「お城拝見!」の歩み①〉

回	城名	町名
1	猿掛城	吉田
2	五龍城	甲田
3	松尾城	美土里
4	面山城	高宮
5	日下津城	向原
6	阿賀城	八千代
7	鈴尾城	吉田
8	長見山城	甲田
9	高橋城	美土里
10	猪掛城	高宮
11	古吹城	向原
12	田屋城	八千代
13	桂城	吉田
14	岩屋城	甲田
15	高城	美土里
16	牛首城	高宮
17	田屋城	向原
18	狐が城	八千代
19	光井山城	吉田
20	釜ヶ城	甲田
21	吹屋城	高宮
22	桜尾城	美土里
23	長谷木城	向原
24	大迫城	八千代
25	宮崎城	吉田
26	柳ヶ城	甲田
27	高橋城	高宮
28	山田城	美土里
29	塩屋城	向原/甲田
30	御子ヶ丸城	八千代
31	船山城・天神山城	吉田
32		

発行編集 安芸高田市 政策企画課 〒731-0592 広島県安芸高田市吉田町吉田791 Tel.(0826) 42-5612 Fax.(0826) 42-4376 http://www.akitakata.jp/

鬼の作法

- 一. 怖くあるべし
- 二. 強くあるべし
- 三. 必ず退治されるべし



(今月の主な内容)
2 神楽とともに生きる

編集後記

特集の取材を通して神楽は地域の誇りと文化だと感じました。一方で市内には神楽のない地域もあります。ですが、代わりに神輿や神祇、田楽、獅子舞などといった文化が地域にあり、その文化を次世代に残そうと努力されている方々がいいます。神楽に限らず、そんな活動をされている方の努力と熱意に頭が下がります。(原田)

なぜ人々は神楽を舞い、神楽に惹かれるのか。長い間抱いていた疑問に、アタックしてみました。今回、神楽に携わる多くの方々に取材させて頂き、その答えに少し近づくことができたような気がします。このような経験をさせて頂いたことに感謝の気持ちでいっぱい。ありがとうございます。(田村)

今月の表紙

神楽に登場する鬼は、神に倒されるのが運命。凛々しいながらも、少し悲しそうな目で江の川沿いに佇んでいます。